

エコチルひょうご通信



全国で 95,000 人を超えました

エコチル調査コアセンターのデータ管理システムに登録された母親参加者の件数が、2月3日に延べ95,000人を超えました。

兵庫ユニットにおいても2月中に参加者数が5,000人を超える予定です。これもひとえに協力医療機関及び関係者の皆さまのご協力の賜物と、心よりお礼申し上げます。

兵庫ユニットでの目標(5,600人)に少しでも近づけるよう、スタッフ一同より一層努力してまいりたいと思いません。



環境測定(追加調査)を開始しました

先にお知らせしておりますとおり、エコチル調査に同意してくださった方の一部を対象に、兵庫ユニットセンター独自の調査として「妊娠中の大気汚染の健康影響に関する調査」へのご協力をお願いしております。

この調査は、妊娠中の大気汚染の影響を明らかにすることを目的としたものであり、ご家庭でPM2.5などの大気汚染物質の濃度を測定します。測定用機材等の準備に時間を要しておりましたが、本年2月より調査を開始しました。

ご協力くださるご家庭をスタッフが訪問して、家屋内と家屋外に測定機器を設置させていただき、PM2.5(粒径2.5マイクロメートル以下の微小な粒子)と粒径2.5~10マイクロメートルの粗大粒子、粒子中のスス(炭素)、エンドトキシン量などを測定します。また、自動車排出ガス等による窒素酸化物、光化学スモッグの原因となるオゾンの濃度も測定し、結果はご協力くださった方にお知らせします。

この調査は妊娠中の環境測定を目的としており、今年の夏頃までに約50世帯にご協力をいただく予定です。

お子さまが生まれた後の環境測定は、全国調査の一部として今年の秋以降に行われる予定ですので、詳細は後日お知らせいたします。



リクルートの現場から



厳しい寒さの続く今日、ユニットセンター周辺でも初雪が舞いました。雪が積もった景色も見たくなりますが、なかなかこの辺りでは難しいようです。

さて、今月からいよいよ冬季オリンピックが開催されます。選手の皆さんも良い成果が残せるよう個人、チームで努力を続けられていると思います。

一方、エコチル調査においても今年春のリクルート終了に向けて努力を続けております。私がこれまでエコチル調査に携わってきた中で改めて感じたことは、妊娠し子供を授かるということは本当にいろいろな偶然や条件が重なってできる命の奇跡だということです。

私はまだ子供を授かっていない立場ですが、最近婦人科に関わる様々な検査を経験しました。エコチル参加者様にご協力いただく際にアンケートの必要事項をご質問させていただくうえで、過去の婦人科の検査や妊娠歴、卵管造影検査の経験があるかなどをお尋ねします。そのなかで、自分も経験しているとどんな検査かということをご説明できるといいなと実感しました。今後もより一層、参加者様に寄り添ったリクルートが行えるよう努力してまいりたいと思います。そして、エコチルチームとしては、ご協力いただいている医療機関の皆様と共に力を合わせて、良い成果を出していけるよう目指しております。



リサーチコーディネーター 内山 亜矢



リクルートの進捗状況 (H26.2.13時点)

母親	父親
1月の結果(兵庫)	1月の結果(兵庫)
106人	46人
累計(兵庫)	累計(兵庫)
4,984人	1,762人
累計(全国)	累計(全国)
95,076人	44,825人

子どもの登録数	
兵庫	全国
3,779人	70,257人

2014
2.14

【編集・発行】兵庫医科大学 エコチル調査兵庫ユニットセンター

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号 ☎0120-456-019

MAIL: ecochild@hyo-med.ac.jp URL: <http://www.ecochil-hyogo.jp/>

